

にしん ばん や 鯨番屋のスケッチ

明けましておめでとうございませう。今年も「いしかり博物誌」をよろしく願っています。資料館では、石狩市に関わる資料の収集を行っています。昨年は特に貴重なものが多い年でしたが、その中から浜益にまつわる絵画を紹介したいと思います。

寄贈を受けたのは浜益の建物のスケッチで、いずれも縦24・2cm、横33cmの紙に鉛筆で描かれています。ひとつは「浜益鯨番屋」とタイトルが付いているもの。これは市の指定文化財となっている旧白鳥家番屋(はまます郷土資料館)です。もうひとつは「浜益村佐藤旅館」とタイトルが付いているものです。佐藤旅館は今はありませんが、浜益区浜益(茂生)の市街にあつた旅館です。「浜益鯨番屋」は、黒鉛筆で描いた後に色鉛筆で屋根に赤色を加えられています。赤いトタン屋根を表現したのでしょうか。手前の石垣には黄緑の線が加えられています。これは生えていた草をあらわしたのでしょうか。

描いたのは松田光博画伯(1925年~2003年)で、昨年秋にご遺族から「浜益にゆかりのある作品なので石狩市で活用してもらいたい」と寄贈の申し出がありました。松田画伯は絵画のほか彫刻作品

も多く残されましたが、中でも相撲にまつわる絵画や彫刻を多く残しました。特に歴代横綱の肖像画が有名です。残念ながら描かれた時期はよく分かっていませんが、松田画伯が浜益を訪れた際に「浜益村佐藤旅館」と合わせて描かれたものと推測されます。

この二点の絵画は、11日(土)からいしかり砂丘の風資料館で開催する「テーマ展 資料館のお宝2025」で展示します。お宝展ではこのほかに花川の紅葉山砂丘や高岡地区で発見された考古資料も展示します。そ



浜益村佐藤旅館



浜益鯨番屋

稲妻 雷五郎像
制作過程と作者
松田光博展
第19回企画展
平成11年
2月9日(火)~
3月21日(日)
東町立歴史民俗資料館
〒060-0028 石狩市東町1-1-1 Tel.0966-76-2011

稲妻雷五郎展
ポスター



旧白鳥家番屋(はまます郷土資料館)



石狩市教育委員会 文化財課
工藤義衛 Tomoe Kudo

専門分野は考古学と風俗史。石狩独特の文化を研究する一環で石狩の食を代表する「石狩鍋」の歴史やルーツについても調査を行う。

の中には続縄文時代の完形土器や大型のメノウ製ナイフなどもありますので、ぜひご来場ください。
(工藤義衛)

園文化財課 いしかり砂丘の風資料館 ☎62・3711 ※火曜休館